

出題分析		
試験時間 75 分	配点 150 点 ※外国語学部は 100 点	大問数 2 題
分量 (昨年比較) [減少 同程度 増加]		難易度変化 (昨年比較) [易化 同程度 難化]
<p>【概評】</p> <p>〈現代文〉 問題文中に傍線がない出題は例年どおり。また、最終設問に漢字問題が出題され、それ以外の設問はすべて内容説明問題であるという出題形式も例年どおり。</p> <p>〈古文〉 問題文中に傍線がない出題は例年どおり。選択肢が似かよった表現なので、問題文と選択肢のつきあわせだけでなく、選択肢どうしの見比べも必要であり、一つひとつの解答に時間がかかる。</p>		

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
一	現代文 (評論) 鶴田想人 「人生の意味」は誰のものか 人生の意味へのコミュニケーション的アプローチ ○行数：126 行	「人生の意味」の哲学のあり方について論じた文章。問 2 の選択肢 e は「ハイブリッド説」の説明としては不十分。問 4 の選択肢 e は、発話が限定されている点が不適當。問 6 は、共同性基盤意味論と筆者が主張する「コミュニケーション的アプローチ」の内容を踏まえる。問 8 の漢字問題は標準だが、㊦の「センユウ」はやや悩ましい。 ※ (昨年度) 評論、121 行、8 問 (8)	標準 〈問題文〉 標準 〈設問〉 標準
二	古文 (平安・作り物語) 作者未詳 『うつほ物語』 ○行数：28 行 ○和歌 2 首を含む	多くの男性に言い寄られているあて宮の入内に際して、兄が危篤に陥る話。問 1 は、副助詞「だに」に着目する。問 2 は、「心にもあらず」の内容を踏まえる。問 4 は選択肢の表現が微妙で、選択肢 c と e で迷う。問 8 は、「絶ゆべきものか」は兄妹の縁を指すことに留意する。問 10 は、「喜びたまふ」にいたった状況を踏まえる。 ※ (昨年度) 平安・日記、29 行、10 問 (10)	標準 〈問題文〉 標準 〈設問〉 標準

※「行数」は問題文の行数。関西大学の問題文は通常 57 字/行 (20 行/頁)。

※昨年度のデータは、同一日の試験問題にもとづく。

設問構成 (設問数・形式・内容)													
大問 番号	設問数 (枝問総数※)	選択式 枝問数	記述式 枝問数	漢字	内容 説明	理由 説明	全文 把握	空欄 (脱文) 補充	主語 確認	現代 語訳	訓読 訓点	語句 文法 知識	その 他
一	8問 (8)	8		1	7								
二	10問 (10)	10			10								

※「枝問総数」は、各設問（小問）に含まれる枝問も個々に数えた場合の全設問（小問・枝問）の総数。設問形式・内容別の設問数も、これと同様の方法で算出した（ただし漢字の読み・書き取りの設問は、枝問に分かれている場合も設問単位で「1問」と数える）。

※「設問内容」の「>」の後の**太字斜体の数字**は、記述式の枝問数を示す。

合格のための学習法
<p>〈現代文〉 傍線がないので、解答範囲を絞ることが難しい。問題文だけでなく、選択肢どうしも見比べて、正解の選択肢を検討しよう。</p> <p>〈古文〉 解答の際は、問題文と選択肢との対応だけでなく、同時に選択肢どうしも見比べることで解答時間を短縮することができる。また、正しい選択肢を選ぶためには、単語の意味や人物関係などを適切に押さえられるよう、基本的な語彙力・読解力を身につける必要がある。</p>